



第31回中泊ビーチサッカースタ in折腰内ビーチ 開催



《砂浜を駆ける、熱戦“開幕”》

7月18日、小泊の折腰内ビーチで、「第31回中泊ビーチサッカースタin折腰内ビーチ」が開催されました。

開会式では、前大会優勝チームの「筒木坂FC」から町長杯が返還され、「筒木坂BSC」の和田 篤選手が選手宣誓し、正々堂々プレーすることを誓いました。

今大会には一般の部56チーム、女性の部10チーム、小学生の部9チームが参加し、熱い激戦を繰り広げました。



《2日目の大会は惜しくも中止に》

19日には、大会2日目で各部門の決勝試合などが行われる予定でしたが、雨の影響により会場につながる道路で土砂崩れが発生したため、参加者の安全などを考慮して中止となりました。

参加選手のみなさん、来年も元気なプレーが見られることを楽しみにしています!!

青の煌めきあおもり国スポ

中泊町炬火イベントを開催

「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ2026」の開催に向けて7月22日、中泊町役場駐車場で炬火イベントを開催しました！

いよいよ今秋、青森県内各会場を舞台に開幕する国スポの総合開会式を10月10日に控え、県内各市町村で炬火イベントが行われました。

町では当初、7月19日の「中泊ビーチサッカースタ」会場で同時開催を予定していましたが、雨の影響でやむなく延期に。延期した7月22日は、奇しくも国スポ総合開会式までちょうど80日という節目の日となりました。



《ゼロカーボンシティ中泊ならではの「風の炎」》

炬火イベントの演出は各市町村の個性が光る見どころです。「ゼロカーボンシティ」の実現を宣言する中泊町では、地域の資源である「風力エネルギー」を活用したクリーンな点火方法に挑戦しました！

会場内に設置した小型風車で発電し、蓄えられた電気エネルギーを点火装置へ送電。装置のスイッチを押すことで火花を起し、火を灯すという仕組みです。

点火式では、町内の未来を担う中学生と町長が力を合わせ、無事に炬火台へ火を灯しました。今回炬火された火は、7月25日に青森市の三内丸山遺跡で行われた「炬火集火式」でひとつの火になりました。

当日の炬火の流れ～

【①点火】

小泊中学校の太田 翔湧さんが点火装置のスイッチを押し、見事発電された電気火が立ち上がりました。



【②採火】

点火した火を濱館町長が点火装置からトーチへ移しました。



【③継火】

町長から、同校の宮下 琉星さんが持つトーチへと火が引き継がれました。



【④炬火完了】

宮下琉星さんの手によって中央の炬火台へ火が灯され、会場は大きな拍手に包まれました。



写真左から 太田 翔湧さん、宮下 琉星さんと濱館町長



【青の煌めきあおもり国スポ・障スポに関するお問合せ】

青の煌めきあおもり国スポ・障スポコールセンター

☎0120-912-568(9:00～18:00 土日祝除く)

青の煌めきあおもり国スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

